

世田谷工業振興協会の紹介

●世工振（世田谷工業振興協会）とは

公益社団法人世田谷工業振興協会は、昭和63年に世田谷区内の企業の健全育成と地域産業の振興を図り、地域社会の発展に寄与することを目的に世田谷区内で事業を行う法人、個人事業主の方々を主な構成員として設立されました。

●協会沿革

昭和25年「社団法人 世田谷工業倶楽部」設立

昭和30年「社団法人 玉川工業会」設立

昭和35年「社団法人 世田谷工業倶楽部」を「社団法人 世田谷工業会」と改称

昭和48年「世田谷区準工業地域内企業者協議会」設立

昭和57年「世田谷産業振興協会」と改称

昭和63年「社団法人 世田谷工業会」「社団法人 玉川工業会」

「世田谷産業振興協会」3団体を統合し「社団法人世田谷工業振興協会」を設立

平成24年4月1日「公益社団法人 世田谷工業振興協会」と名称変更による設立

世田谷工業振興協会の紹介

●主な事業

1. 企業経営に関する情報の収集、分析、研究、提供及び調査に関すること。
2. 講演会、講習会及び研修に関すること。
3. 工業展示会等に関すること。
4. 会員及び従業員の福利厚生及び表彰に関すること。
5. 労働保険の保険料の徴収等に関する法律第四章の規定に基づく労働保険事務組合としての業務。
6. 関係官公署及び関係機関との連携並びに意見具申に関すること。
7. その他、本会の目的を達成するために必要なこと。

世田谷工業振興協会の紹介

●世田谷工業振興協会の事業内容

◎後継者育成 事業承継等経営支援事業 <ものづくり基盤技術強化事業>

『2019防災産業展in東京』の出展

本展は、日刊工業新聞の主催で『安全・安心な住・生活環境を実現する』をテーマに掲げ、住居やインフラ(ライフライン)、再エネ等に特化した展示を実施し、防災・減災に関する知識や技術・製品に関する専門展として毎年開催している。世工振ブースでは、異業種交流事業により製作した

『災害時非難誘導塔(AE-TOWER)』を展示し、情報収集と販路開拓に向け、効果的なPR活動を実施した。

◎区民まつり等イベントへの参加

『桜新町「さくらまつり」』

『せたがやふるさと区民まつり』

『せたがや産業フェスタ』

『新年子どもまつり』

◎工業事業所PR及び 情報提供事業

『世工振ニュース』発行

世田谷工業振興協会の紹介

●世田谷工業振興協会の事業内容

◎準工業地域の保全・拡充

＜「準工業地域に係る指導基準」に基づく事前協議＞

『準工業地域』とは？ 都市計画法上の工業系用途地域のことをいいます。

住宅と工場が共存する地域です。

現在、世田谷区においては公施設の用地を除いて、

1.池尻地域 2.経堂地域 3.船橋地域 4.桜新町地域 の一部

(現在、区の面積の0.67%に当たる39ヘクタール)が「準工業地域」となっています。

◎準工業地帯を広める活動の説明

『産学公連携による桜新町地区における「住工共生まちづくり交流イベント」の企画・運営』

「桜新町ものづくりの魅力発見ツアー」等

世田谷工業振興協会の紹介

●世田谷工業振興協会の今後を見据えて

将来的に工業に携わる人は減っていくものと思われます
世工振としては、時代にあわせて変わりながら継続するために

◎会の事業内容・知名度・活動の周知、参加事業者の事業内容や活動PRのために

- ・会員増強(若手経営者の世工振への加入推進)
- ・農業・工業・商業と連携を深め、協業(世田谷みやげ等)を考える
- ・DX化・事業承継・事業継続計画(BCP)等の環境を作る
- ・世田谷の工業を持続させるための方法や面白いアイデアを考える
- ・世田谷工業振興協会のSNSなどを使った宣伝活動を増やす
- ・一般の方々に興味を持ってもらえる事業(公益事業?)を構築する